

32. 夏秋咲きスプレイギクの8～9月出荷作型における品種特性

福島県農業試験場いわき支場・平成11年度春夏作試験成績概要

1 部門名 花き－キク－品種比較

05－08－01000000

2 担当者 栗本優美子

3 要 旨

本県のスプレイギク栽培は、主に秋咲き性品種が用いられているが、高温期の作型では開花遅延や花房形の変形等、切花の品質低下が問題となっている。そこで、耐暑性の強い夏秋咲き性の10品種を用い、8、9月出し栽培における開花特性と切り花品質について検討した。

(1) 5月中旬の挿し芽で自然日長の場合は8～9月に開花した。また、電照により長日条件を与えた場合も8～9月に開花させることができた。

(2) 長日条件を与えた場合、その開花抑制効果には品種間差がみられた。

(3) 自然日長の場合「品質のよい切花」が得られたのは、アニタとテネシーの2品種だけであった。また、電照を行い長日条件を与えた場合は切花品質が改善され、セドリック、ピンクコンテスト、ピーターの3品種では「品質のよい切花」が得られたが、その他の品種は、高品質の切花を得ることができなかった。